

# 事業概要シート

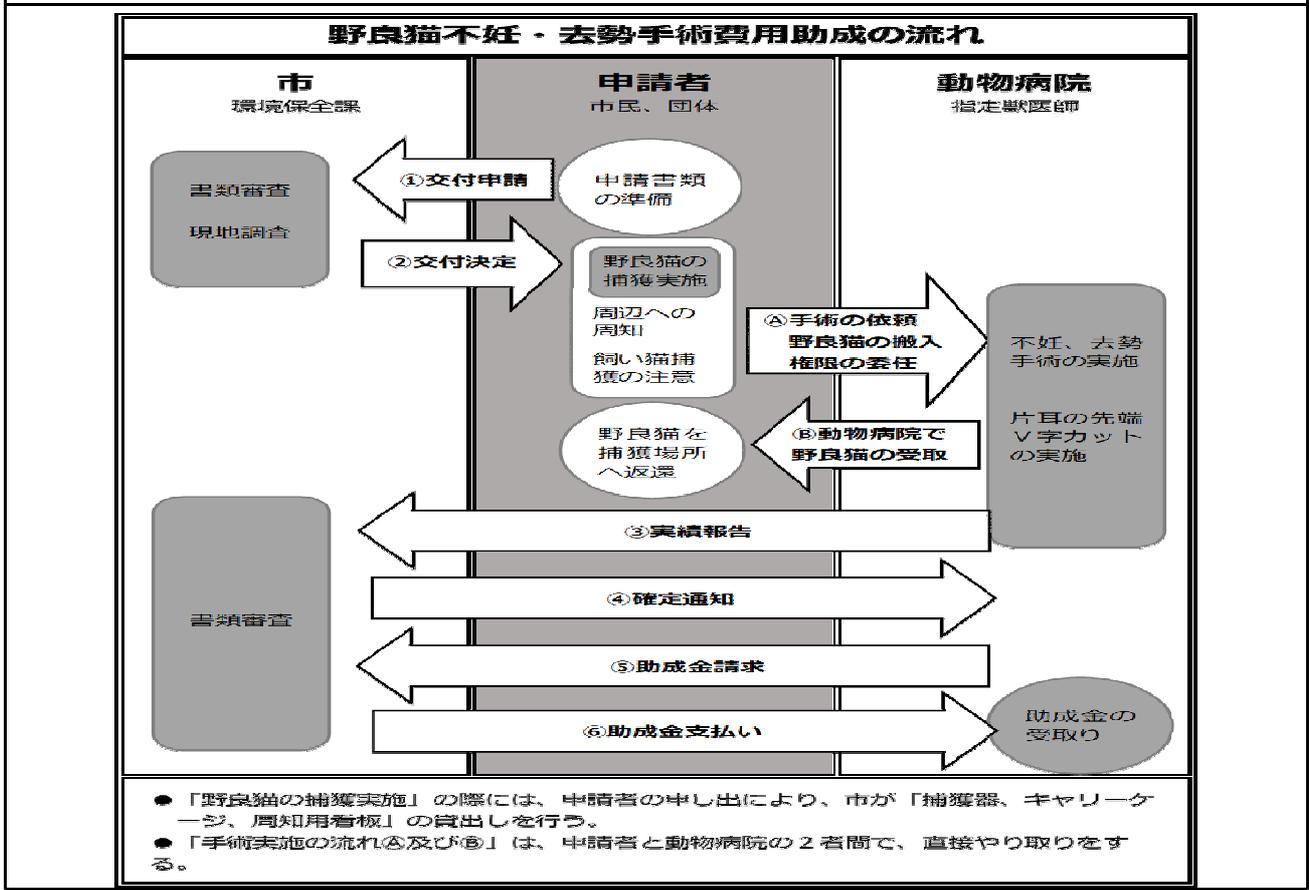
施策 2002 環境汚染対策の推進

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く  
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	野良猫対策事業	拡充	予算額	3,125 千円
			《 》千円	2,664 千円
事業期間	平成29年度 ~ 令和5年度	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市野良猫不妊・去勢手術費用助成金交付要綱		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	1 千円
		一般財源	3,124 千円	

**【事業の目的・概要・対象】**

- 【既存の取り組み：大村市野良猫不妊・去勢手術費用助成事業】**
- (1) 目的 野良猫によるフン尿等被害軽減及び殺処分頭数の減少
  - (2) 概要 市民が捕獲し不妊去勢手術を受けさせた野良猫に対する手術費用の全額助成  
 (助成額) 不妊(メス)手術…18,000円 去勢(オス)手術…8,000円  
 (手続きの流れ) 交付決定→市民が野良猫を捕獲し指定動物病院へ搬送→手術→以降の手続きを申請者から動物病院へ委任→動物病院からの実績報告・請求→確定・支払い
  - (3) 対象 市内に住所を有する個人または団体
  - (4) 間接的に恩恵を受ける者 ふん尿被害を受けていた者、野良猫を保護するボランティア団体等の市民



**【背景】**

- (1) 平成28年3月議会で市長が猫の不妊・去勢手術助成について研究していくことを答弁。
- (2) 平成28年5月17日に、市長課題協議で、犬猫殺処分ゼロに向けて施策を進めることを協議。
- (3) 野良猫がみだりに繁殖し、フン尿被害や無責任なエサやり等による環境悪化が問題となっている。
- (4) 猫を取り締まる法令がない。
- (5) 保健所で引き取られ殺処分される猫の大半が、野良猫が生んだ生後間もない子猫であり、この現状が動物愛護の観点から問題視されている。

担当課	市民環境部 環境保全課	課長	小中尾 政則
担当者	品川 梨菜	問合せ先	0957-53-4111 (内線142)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	
①	施術頭数	計画値 頭	74	75	115	115	
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	
①	大村市内の猫の殺処分数	計画値 頭	164	150	140	130	

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	合計	
事業費	1,904	2,505	2,664	3,125	3,125	0	13,323
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				1	1		2
一般財源	1,904	2,505	2,664	3,124	3,124		13,321
人件費	3,658	6,201	3,658	3,658	3,658	0	20,833
職員(人)	0.50人	0.85人	0.50人	0.50人	0.50人		2.85人
時間外勤務(h)	11h	10h	11h	11h	11h		54h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	5,562	8,706	6,322	6,783	6,783	0	34,156

妥当性 (市の関与)	猫には取締法令がないため、野良猫による被害防止や個体数の増加への対策ができない。一方で猫による苦情件数は年々増加し、事案も複雑化しているため、行政としてできる施策を設けるべきだと考える。
有効性 (施策貢献度)	野良猫の繁殖抑制により、ふん尿や無責任なエサやりによる環境の悪化を食い止め、近所間のトラブルを軽減することができる。また、殺処分頭数の減少につながる。
効率性 (コスト)	現在は他市の施術費用に合わせる形で不妊手術：18,000円 去勢手術：8,000円となっているが、1頭でも多くの野良猫に手術を受けさせるため、助成額を減額する方向で見直す必要がある。 長崎県地域猫活動推進事業やボランティア団体が利用しているどうぶつ基金を活用していくことで、多くの野良猫の手術ができるよう努める。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり